

平成26年度ホタテガイ採苗通報(第12報:臨時)

平成26年7月25日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL: 0226-23-6880 FAX: 0226-24-2561

E-mail: kssuisi@pref.miyagi.jp

Home Page: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/>

水産技術総合センター TEL: 0225-24-0138

気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL: 0226-22-6852

東部地方振興事務所水産漁港部 TEL: 0225-95-7914

県漁協各支所青年部・研究会

- 5月下旬に投入した唐桑(石浜)、階上(岩井崎)及び歌津(田ノ浦)では、殻長10mm以上の個体も若干ありましたが、6月上旬に投入した本吉町(蔵内)、大島(大前見)も含め、全調査点において、全稚貝数の71.7%~87.9%が6mm未満の個体となっています。
- 採苗可能な殻長6mm以上の個体の割合は、唐桑(石浜)12.1%、階上(岩井崎)24.2%、大島(大前見)13.9%、本吉(蔵内)28.3%、歌津(田ノ浦)14.0%となっています。
- 害敵生物(コツブムシ及びヒトデ)は、唐桑(石浜)、本吉(蔵内)及び歌津(田ノ浦)において、1~11個体の混入がありました。
- 今後の稚貝採取作業は、ホタテ稚貝の成長を確認し、行ってください。
- なお、採苗袋内のホタテ稚貝密度が高い場合や、また、ムラサキイガイやコツブムシ等の害敵生物が多い場合なども、早めに採苗袋からホタテ稚貝を採取するよう、心がけてください。

稚貝採取は下記に注意してください。

- ・ 稚貝採取にあたっては余裕を持った計画を立てましょう。
- ・ 雨の日や大雨の後の稚貝採取作業は行わないようにしましょう。
- ・ 稚貝を採取する場合は、酸欠に注意しましょう。
- ・ 稚貝採取は気温の低いときに実施する様にしましょう(水温26℃以上では稚貝がへい死する恐れがあります。暑い日は避けてください)。
- ・ 海水はなるべく水深が深い、水温の低いところから汲み上げ掛け流しにし、水槽内の水がくまなく行き渡るような稚貝の密度にしてください。
- ・ 稚貝は空気中に長く露出しないようにするとともに、稚貝にショックを与えないよう、作業は丁寧に短時間で済ませましょう。
- ・ 作業が終わり次第、直ちに水温の低い水深へ垂下してください。

《調査結果の概要》調査日: 7/22~24日

○ホタテガイ稚貝

- ・ 付着稚貝数は1袋あたり1,276~9,228個。
- ・ 全調査点において、大半が殻長6mm未満の個体であり、2~4mm程度の個体も多い。
- ・ 唐桑(石浜)、階上(岩井崎)及び歌津(田ノ浦)で、殻長10mm以上の個体も若干あり。

○ムラサキイガイ

- ・ 付着稚貝数は1袋あたり160~5,376個(殻長0.5~3mm)。

○害敵生物

- ・ ヒトデ類は、本吉(蔵内)で1個体(9mm)。
- ・ コツブムシ(ウミセミ類)は、1cm未満の個体が唐桑(石浜)11個体、本吉(蔵内)3個体、歌津(田ノ浦)1個体。

表1 各調査点の付着稚貝数（採苗袋当り）

調査点	採苗袋の目合	垂下期間 投入-回収 深度 (m)	ホタテガイ					ワケガイ		害敵生物		
			稚貝数					稚貝数	殻長 範囲 (mm)	ヒトデ類	その他 (コブシ)	
			6未満	6~8 ^{※1}	8~10 ^{※2}	10~12	12以上					
北部地区												
唐桑	石浜	細	5/29 ~7/24	2	8,116 (87.9%)	812 (8.8%)	264 (2.9%)	36 (0.4%)	5,376	0.5~3	なし	11個体
気仙沼地区	階上 (岩井崎)	細	5/30~7/22	7	2,835 (75.8%)	679 (18.2%)	168 (4.5%)	58 (1.6%)	1,772	1~3	なし	なし
	大島 (大前見)	細	6/上~7/22	10	1,098 (86.1%)	178 (13.9%)			160	0.5~1	なし	なし
大谷本吉	蔵内	細	6/5~7/24	10	3,306 (71.7%)	1,083 (23.5%)	223 (4.8%)		541	0.5~3	1個体	3個体
歌津	田ノ浦	細	5/20~7/22	10	3,348 (86.0%)	337 (8.7%)	153 (3.9%)	54 (1.4%)	858	1~3	なし	1個体

注) ※1：2分目以下のホタテネット（パールネット）で稚貝採取可能
 ※2：2分5厘目以下のホタテネット（パールネット）で稚貝採取可能